

PRESS RELEASE

2013年12月9日
株式会社三菱総合研究所

2013年7-9月期2次QE後「内外景気見通し」改定値

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号)は、内閣府より12月9日に発表された2013年7-9月期GDPの2次速報値(2次QE)を受け、11月15日当社発表の「2013・2014年度の内外景気見通し」におけるGDP予測値の改定を行った。

◆ 予測結果 - 実質GDP成長率は、13年度+2.6%、14年度+0.9%

実質GDP成長率は、13年度+2.6%、14年度+0.9%と予測する。前回見通し(1次QE後、11月15日)から13年度は▲0.1%ポイントの下方修正、14年度は変更なし。

2013年7-9月期GDPの2次QEは、1次QEから実質前期比+0.5%→+0.3%(同年率+1.9%→+1.1%)と下方修正された。成長ペースこそ鈍化したものの、外需の不振を堅調な内需が補うかたちで底堅い成長を続けている状況に変わりはない。

先行きを展望すると、13年度後半は消費増税前の駆け込み需要が本格化するとみられ、年率4~5%程度の高めの成長を予想する。14年度は、前半に駆け込み需要の反動減を見込むが、13年度中の企業収益の改善が設備投資や賃金の回復につながり、14年度後半には緩やかながらも再び成長軌道に戻していくと予想する。12月初に閣議決定された5.5兆円の経済対策も短期的な需要変動を均す方向へ寄与しよう。

図表 日本経済見通し総括表

		今回見通し			前回(1次QE後、11/15)		
		2012年度 実績	2013年度 予測	2014年度 予測	2012年度 実績	2013年度 予測	2014年度 予測
(単位:前年度比)							
実質 GDP	実質国内総生産(実質GDP)	0.7%	2.6%	0.9%	1.2%	2.7%	0.9%
	民間最終消費支出	1.5%	2.4%	▲0.4%	1.6%	2.1%	▲0.4%
	民間住宅投資	5.3%	7.7%	▲4.0%	5.3%	7.9%	▲4.0%
	民間設備投資	0.7%	1.5%	4.3%	▲1.3%	1.7%	4.3%
	民間在庫品増加(寄与度)	▲0.1%	▲0.2%	0.1%	▲0.1%	▲0.0%	0.1%
	政府最終消費支出	1.5%	2.0%	1.5%	2.1%	1.8%	1.5%
	公的固定資本形成	1.3%	13.6%	▲1.2%	14.9%	14.0%	▲1.2%
	財貨・サービス純輸出	***	***	***	***	***	***
	財貨・サービス輸出	▲1.2%	3.8%	5.0%	▲1.2%	3.8%	5.0%
財貨・サービス輸入	3.8%	4.0%	2.8%	3.9%	4.0%	2.8%	
寄与度	内需寄与度	1.4%	2.6%	0.5%	1.9%	2.6%	0.5%
	民間寄与度	1.1%	1.7%	0.3%	0.9%	1.7%	0.3%
	公需寄与度	0.3%	0.9%	0.2%	1.0%	1.0%	0.2%
	外需寄与度	▲0.8%	0.0%	0.4%	▲0.8%	0.0%	0.4%
名目国内総生産(名目GDP)		▲0.2%	2.3%	2.4%	0.3%	2.4%	2.4%
GDPデフレーター		▲0.9%	▲0.2%	1.5%	▲0.9%	▲0.2%	1.5%

注:「平成24年度国民経済計算確報」の反映により、2012年度を中心に過去の実績値が大幅に改定され、これも2013年度の成長率に若干の影響を及ぼしている。

資料:実績は内閣府。予測は三菱総合研究所。

◀ 本件に関するお問合せ先 ▶

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号
 政策・経済研究センター 武田洋子 森重彰浩 電話: 03-6705-6087 FAX: 03-5157-2161 E-mail: ytakeda@mri.co.jp
 広報部 峰尾 電話: 03-6705-6000 FAX: 03-5157-2169 E-mail: media@mri.co.jp
 尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。